

	三郷市立南中学校
	第1学年 学年通信
	平成28年10月21日(金)
	第18号

## みんなの心が一つになった！

## ホールに響き渡る歌声！！

指揮者の指先にみんなの視線がしっかりと集まった瞬間、今までで一番美しいハーモニーがホールいっぱいに響き渡りました。やっと学年全員の心のベクトルが同じ方向を向いた瞬間でした。

1学期に、「南中祭は『仲間大切さ』をテーマにする」と決めてから3ヶ月。みなさんは様々な活動に取り組んできましたね。いじめによる自殺で娘さんを失った小森さんの講演を聴き、「いじめの恐ろしさ」を実感しました。その感想や「どうしたらいじめをなくせるか」考えた学活の意見をもとに、シナリオ係が推敲を重ねて台本を作りました。さらに、ナレーターは自分の担当した文に込められた気持ちを観客に伝えられるよう、何度も何度も練習を重ねました。

発表の要である学年合唱は、最初声が小さく、下を向く人や横の友達に話しかける人、あくびをする人、全く口を開けない人などが目立ち、なかなか心が一つになることができませんでした。

しかし、南中祭まで1週間となった10月6日の全校合唱練習で、3年生の先輩の美しいハーモニーに圧倒されたみなさんは大きく変わりました。「先輩のように聴く方の心をふるわせる素敵な合唱にしたい。」その思いが、みんなの心をやっと一つにしたのです。本番のみなさんの姿は、仲間への信頼と強い絆できらきらと輝き、「ソプラノ・アルト・男声」の三つの歌声が溶け合って、見事なハーモニーを作り上げていました。

運動会、遠足、南中祭。行事を経験するたびに、みなさんは大きく成長しています。「自分勝手な気持ちを抑え、目標達成のために仲間と協力すること」「相手の立場に立って考え、お互い支え合うこと」。これらは、中学校でも高校でも社会に出てからも、人間としてとても大切な姿勢です。

行事で身につけたことを普段の生活に生かし、みんなが笑顔で気持ちよく過ごせる学年にしていきましょう。そして、1月のスキー教室に向けて、さらに高いレベルまで成長できるよう頑張りましょう。

## ＜南中祭を終えて＞

1組 箕輪颯月さん 僕は最初不安でした。初めての南中祭だし、失敗してしまうかもしれないと思ったからです。だけど、皆この日のために一生懸命練習してきたし、「絶対成功させてやる！」という気持ちがあり、自信もありました。そして、何と！南中祭は大成功しました。すごく緊張したけれど、やりきれて良かった。来年も大成功で終わらせたいです。

1組 篠塚晴斗さん 南中祭は成功したと思います。なぜなら、みんなで精一杯練習して南中祭に挑めたからです。前日の最後の練習の時、みんなの声が出ていたので成功しました。今までで一番声が出ていたのは南中祭でした。終わったとき、とても気持ちよかったです。

2組 江川涼さん 歌練では男子がふざけたり、ふらふらしていたけれど、南中祭3日前からみんなが一つになれました。「マイバラード」では、最後がバラバラでそろわなかったけれど、みんなが意識して、本番では一つになって歌えました。先生を泣かせることもできたし、とても楽しく思い出に残る南中祭でした。

2組 岡野杏さん 南中祭当日は、今までどの練習よりも一番上手な発表ができたと思います。特に合唱が大きな声で歌えたので良かったです。「マイバラード」と「輝くために」だけではなく、「COSMOS」「希望は輝く」「校歌」もみんな心合わせて歌うことができました。練習は大変だったけれど、頑張ったおかげで成功することができ本当に良かったです。

3組 立澤しずねさん 南中祭は初めてでしたが、一人一人が「心をつにして歌おう」と思いながら歌えたと思います。この南中祭でわかったことは、「自分の声と周りの声、そして『想い』が集まってできるのが「歌」だということです。今回全員の絆がより深まったと思います。理由は1年生の発表が終わった直後に、すごく達成感があったからです。2年生、3年生でも頑張りたいです。

次週へ続く…

### ♪ 南中祭合唱の様子 ♪

